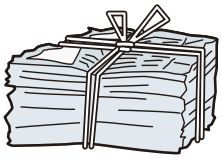
リサイクルできるものの処理方法

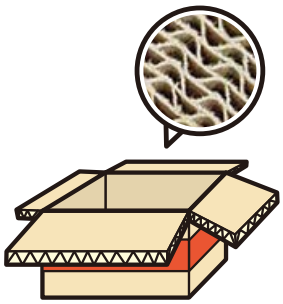
紙類や布類にはさまざまな種類があり、用途などによって原料や品質が異なります。リサイクルをするには、それらを種類ごとにひとまとめにする必要があります。そのためには、資源ごみの日に集積所に出す段階で分別することが効率的なリサイクルを推進する第一歩になりますので、適正な分別にご協力をお願いします。また、集積所に出す際にはリサイクルできないものを取り除いてください。

新聞・折り込みチラシ

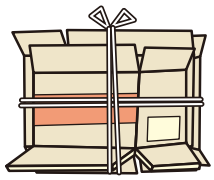
平らに伸ばして
ひもで束ねる



ダンボール(断面が波状のもの)



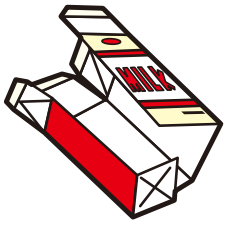
平らに伸ばして
ひもで束ねる



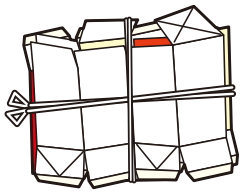
雑誌・雑紙
(週刊誌・漫画・紙袋・紙箱など)

平らに伸ばして
ひもで束ねる

飲料用紙パック



平らに伸ばして
ひもで束ねる



※内側が銀色のアルミ加工の飲料用紙パックは、「燃やせるごみ」へ

衣類・布類(タオル・シーツ・シャツ・ジーパンなど)

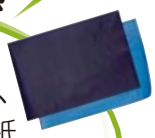
洗って乾かし、透明・
半透明の袋に入れる

※スキーウエア、ダウンコートなど綿や羽毛が入ったもの、カーテンやクッションなどさまざまな原料が使われているもの、革製品は、「燃やせるごみ」へ

紙に混入しやすいもの

金属クリップ、ファイルの金具、プラスチックファイル、透明封筒、粘着テープ、布製品は、紙類とは分けて出してね！

リサイクルが困難な紙類



写真、感熱紙、カーボン紙、食品などが付着した包装紙は、**「燃やせるごみ」**へ